

# 野村ハイパーストック・ベア5 (日本ハイパーベア5)

## 運用報告書(全体版)

第1期(決算日2016年10月11日)

作成対象期間(2015年10月30日～2016年10月11日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式/特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2015年10月30日から2017年10月11日までです。
運用方針	わが国の株価指数先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2.5倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。
主な投資対象	円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、株価指数先物取引を主要取引対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株組 入 比	式率	株先 物 比	式率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金					
(設定日) 2015年10月30日	円 10,000		円 —		% —	% —	% —	百万円 150	
1期(2016年10月11日)	9,062		0	△9.4	—	△253.9		10,932	

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の値動きの概ね2.5倍程度反対となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

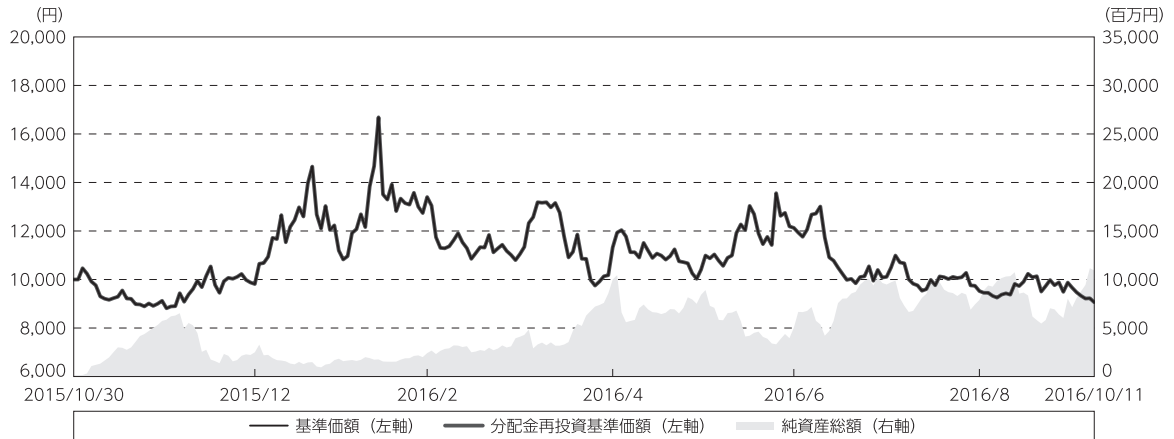
年 月 日	基 準	価 額		株組 入 比	式率	株先 物 比	式率
		騰 落	率				
(設定日) 2015年10月30日	円 10,000		% —		% —		% —
11月末	9,123	△ 8.8		—		△263.3	
12月末	9,813	△ 1.9		—		△302.7	
2016年1月末	11,194	11.9		—		△225.1	
2月末	13,399	34.0		—		△282.7	
3月末	11,344	13.4		—		△258.9	
4月末	11,322	13.2		—		△246.2	
5月末	10,029	0.3		—		△270.9	
6月末	12,129	21.3		—		△338.0	
7月末	10,081	0.8		—		△246.5	
8月末	9,523	△ 4.8		—		△283.5	
9月末	9,873	△ 1.3		—		△227.7	
(期 末) 2016年10月11日	9,062	△ 9.4		—		△253.9	

\* 騰落率は設定日比です。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,062円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 9.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

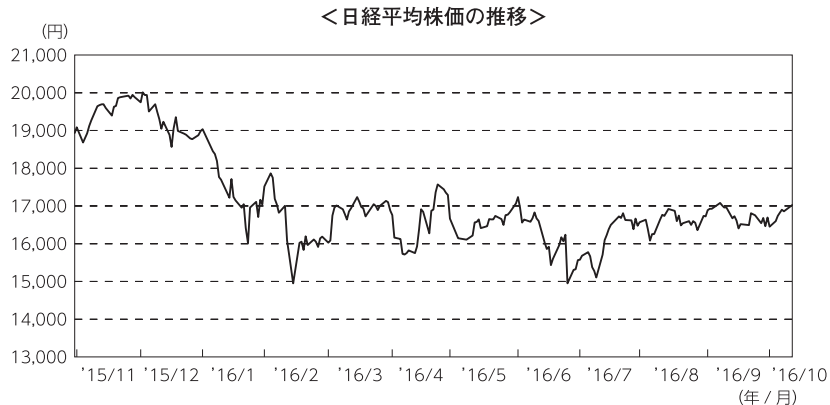
基準価額は、設定時10,000円から期末9,062円に938円の値下がりとなりました。

## ○投資環境

設定時から2015年11月下旬まで、中国経済への懸念が後退したことや、ECB（欧州中央銀行）総裁の追加金融緩和を示唆する発言など世界的な金融緩和継続の流れ、国内企業の決算への期待などを背景に、株式市場は上昇しました。

12月以降は、中国経済や米国経済への先行き懸念が高まったこと、原油価格下落などを背景とした世界的な株安が進行したこと、円高の進行により企業業績への影響が懸念されたこと、日銀によるマイナス金利導入の影響により金融機関の利益減少懸念が高まったことなどから、株式市場は下落しました。

その後は、日銀による追加金融緩和期待や、消費増税延期や大型補正予算などへの政策期待、円高の進行が継続したこと、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票への見方などを巡り、株式市場は一進一退の展開となりました。



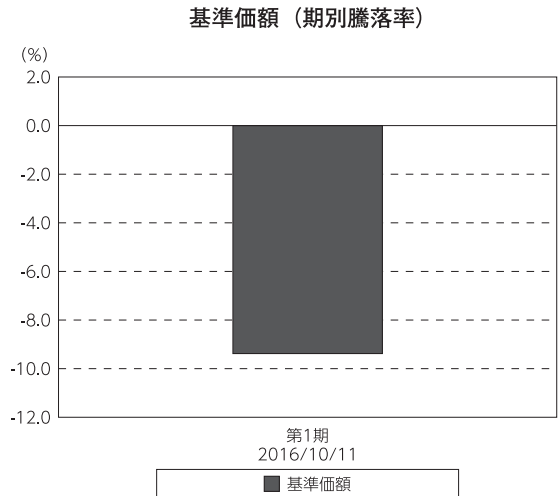
## ○当ファンドのポートフォリオ

国内の短期金融商品を組み入れると共に、日経平均株価指数先物取引を活用して日々の売建比率を250%前後に維持するように運用してまいりました。設定・解約がある場合は、設定金額と解約金額の差額分に対して、原則として、当日中に日経平均株価指数先物取引により対応を行ないました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の値動きの概ね2.5倍程度反対となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

経費控除後の配当等収益や基準価額水準を勘案し、今期の収益分配は見送らせていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2015年10月30日～ 2016年10月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

今後も、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2.5倍程度反対となる投資成果を得られるよう運用を行なってまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年10月30日～2016年10月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 112	% 1.047	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 47 )	(0.442)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 60 )	(0.565)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 4 )	(0.041)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.091	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 10 )	(0.091)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.003	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	122	1.141	
期中の平均基準価額は、10,652円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年10月30日～2016年10月11日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 104,598,007	千円 104,598,047

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

## ○派生商品の取引状況等

(2015年10月30日～2016年10月11日)

## 先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買建		売建		当期末評価額		
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
国内	株式先物取引	日経225	百万円 -	百万円 -	百万円 194,593	百万円 166,269	百万円 -	百万円 27,760	百万円 △339

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年10月30日～2016年10月11日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
株式先物取引	百万円 166,269	百万円 166,269	100.0	百万円 194,593	百万円 194,593	100.0
預金	82,765	82,765	100.0	82,765	82,765	100.0

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当	期
売買委託手数料総額 (A)		5,057千円
うち利害関係人への支払額 (B)		5,057千円
(B) / (A)		100.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社、野村信託銀行です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2015年10月30日～2016年10月11日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 150	百万円 -	百万円 -	百万円 150	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2016年10月11日現在)

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期	
			買 建 額	売 建 額
国内	株式先物取引	日経225	百万円 -	百万円 27,760

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2016年10月11日現在)

項目	当期	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 12,118,224	% 100.0
投資信託財産総額	12,118,224	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年10月11日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,118,224,417	
コール・ローン等	7,033,646,417	
差入委託証拠金	5,084,578,000	
(B) 負債	1,185,964,662	
未払金	340,416,108	
未払解約金	808,956,492	
未払信託報酬	36,478,078	
未払利息	6,748	
その他未払費用	107,236	
(C) 純資産総額(A-B)	10,932,259,755	
元本	12,064,270,000	
次期繰越損益金	△ 1,132,010,245	
(D) 受益権総口数	12,064,270,000口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9.062円	

(注) 期首元本額は150,000,000円、期中追加設定元本額は101,364,910,000円、期中一部解約元本額は89,450,640,000円、1口当たり純資産額は0.9062円です。

## ○損益の状況（2015年10月30日～2016年10月11日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 230,051	
受取利息	1	
支払利息	△ 230,052	
(B) 有価証券売買損益	1	
売買益	△ 24,587	
売買損	24,588	
(C) 先物取引等取引損益	△ 600,717,562	
取引益	2,156,238,233	
取引損	△ 2,756,955,795	
(D) 信託報酬等	△ 53,538,482	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 654,486,094	
(F) 追加信託差損益金	△ 477,524,151	
(配当等相当額)	(△ 1,487,149)	
(売買損益相当額)	(△ 476,037,002)	
(G) 計(E+F)	△ 1,132,010,245	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	△ 1,132,010,245	
追加信託差損益金	△ 477,524,151	
(配当等相当額)	(△ 1,487,149)	
(売買損益相当額)	(△ 476,037,002)	
繰越損益金	△ 654,486,094	

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2015年10月30日～2016年10月11日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年10月30日～ 2016年10月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	0円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	0円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	0円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。